

## 北木島の石工用具



写真笠岡市教育委員会提供

指定区分	国登録有形民俗文化財
読みかた	きたぎしまのいしくようぐ
所在地	笠岡市北木島町
指定年月日	平成26年2月24日
解説	<p>北木石は、北木島に産出する花崗岩で、石質が硬くて経年変化しにくく、また光沢があり加工も容易という特長がある。明治期以降、日本銀行本店本館(明治29年・重要文化財)、三越本店(大正3年)、靖国神社大鳥居(昭和8年)など多くの建造物に使用された。北木島における採石の始まりは明らかでないが、明治中期頃からは本格的な採掘が行われるようになった。戦後になるとさらに発展し、削岩機が導入されて機械化が進行した。昭和32年の丁場数は過去最多の127か所にのぼり、石材加工工場も稼働を始めた。昭和40年には窄孔機が導入され、効率的な採石が可能になった。しかし、その後は各種規制の強化に加え、安価な外国(中国等)産石材が大量に輸入されるようになり、丁場数が減少していった。一方、石材加工工場は現在でも多数操業している。登録の対象は、市立北木中学校内「北木石記念室」に保存・展示されている199点の用具である。</p>
アクセス方法	笠岡港から三洋汽船定期船で北木島港へ。1日8便。北木島港から北木中学校まで徒歩約10分。
公開状況	原則として平日公開。ただし中学校休校時は休館。
設備	<p>トイレ  駐車場 </p>
備考	